

第 29 回海外投融資委員会議事要旨

1. 日時

平成 26 年 10 月 15 日（水） 16:00～18:00

2. 場所

国際協力機構本部 6 階役員会議室

3. 出席者

（海外投融資委員会委員）

浦田委員長、赤木委員、赤羽委員、荒木委員、小木曾委員、柴田委員、長島委員、横尾委員

4. 議事・報告

- ① 海外投融資の現状と進捗状況
- ② 中南米省エネ・再生可能エネルギー事業

5. 議事の要旨

冒頭、事務局より海外投融資案件の進捗状況について報告をした。

① 海外投融資の現状と進捗状況

事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。

- ・引き続き、現地通貨建て融資や小規模案件の検討を含めた海外投融資案件の検討を推進していくこと。
- ・各国が進める PPP 制度構築・改善に関して、民間の創意工夫が生かせる制度への支援が重要。

② 中南米省エネ・再生可能エネルギー事業

事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。

- ・本事業は、中南米において重要性を増している省エネ・再生可能エネルギー事業への支援であり、当該地域の政策に沿い、開発効果の高い事業と考えられる。
- ・本事業は、ファンドへの出資であり、ファンド運営チームの能力・資質によるところが大きいことから、モニタリングを通じて、コミットメントを確認していくことが必要。
- ・日本の省エネ・再生可能エネルギー技術の当該地域での展開を後押しするためには、技術協力やセミナー等を通じた支援とともに、これらの技術に関する知見・ネットワークを有する他法人等と連携していくことも重要。

以上